

第 2 期

すすま夢プラン

～ふれあい たすけあいのまち 須々万～



～ はじめに ～

夢プランとは、地域住民の自主的・主体的な協議によって、地域の課題の解決や地域の活性化などを目指した、具体的な取り組みを定めた計画のことです。

須々万地区では平成 28 年に「すすま夢プラン」を策定して、プランに基づいて様々な具体的な取り組みを行ってきましたが、当初の計画期間（5年間）が過ぎたことから、この度、改訂版を策定することといたしました。



第 2 期

すすま 夢 フラン



— 具体的な取り組み —

◎…取り組みの例

1 地域の宝である子どもたちを、地域で育てる取り組みを続け、子育て支援にも取り組もう

- ◎ 須々万放課後子ども教室の継続
- ◎ 出産祝制度の継続

2 須々万の歴史・文化等を守り、後世に伝えよう

- ◎ 史跡案内の整備
- ◎ 史跡巡りウォーキングの実施

3 美しい街並みの実現と、景観を保全するための取り組みを検討しよう

- ◎ 団体・個人での清掃活動の奨励
- ◎ 遊休農地の市民農園としての活用
- ◎ 耕作放棄地への草花の植栽

4 人口減少に歯止めをかけるために、空き家への移住促進に取り組もう

- ◎ 里の案内人の活動の継続

5 コロナ禍で自粛基調の地域のお祭りや、イベントの復活・継続に努めよう

- ◎ 夏祭り、八朔祭りを盛り上げる

6 世代を超えて楽しめる新たなイベントの企画・実施に取り組もう

- ◎ 小規模イベントの企画・実施



(放課後子ども教室)



(史跡周辺の整備)



(ふれあい盆踊り&花火大会)

～ すすまるくんの13条 ～

- 7 SNS等を活用して地域外への須々万の魅力の発信を続けよう
◎ Facebook や Instagram による情報発信
- 8 須々万支所・市民センターが移転され、新たに建設される「北部拠点施設」について、検討し提言を行おう
◎ 必要な機能の検討・提言
- 9 夢プランの部会から独立して活動を続けるグループを側面から支援しよう
◎ 黒豆友の会の側面支援
- 10 閉校後の徳山北分校について、地域としての検討・提言・要望活動に取り組もう
◎ 校舎・敷地・グラウンド・裏山などの適切な管理と有効活用について検討・提言
- 11 温暖化による気候変動で多発するようになった「集中豪雨」による災害等に対して、行政と協力して減災対策に取り組もう
- 12 「ふれあいの森」を、須々万の貴重な地域資源として見直し、地域としての活用方法について検討しよう
- 13 須々万保育園と須々万幼稚園を統合して、「認定こども園」が開設されるのに合わせて、特色ある須々万教育の創造に取り組もう



(SNSによる魅力発信)



(黒豆友の会の活動)



(徳山北分校)



(ふれあいの森)

～ 改定の基本方針 ～

いまだ新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たず、今後の社会経済活動の回復レベルを予測し難い現状では、まったく新しい夢プランを策定することは困難である上に適切でもありません。

そこで、現行の「すすま夢プラン」の具体的取り組みの中から、当初の目的を達成することができたもの、実現可能性が低いもの及び行政の守備範囲に属するもの等を削除し、これからも取り組みを継続するのが望ましいものを残して、それらを中心にして、皆さんから寄せられたご意見の中から新たな取り組みをいくつか加えるという基本方針で、改訂版を策定しています。

～ 計画期間 ～

計画期間は、令和5年度（2023年度）から概ね5年間とします。

初年度は主として、プランの実行体制の整理と再構築に取り組むこととします。



「すすま」のキャラクター



作成/令和5年3月 発行/須々万地区まちづくり推進協議会

【問い合わせ先】

〒745-0122 周南市大字須々万本郷478-2 (須々万市民センター内)

TEL 0834-88-0001 / Email : susuma-ko@city.shunan.lg.jp